

ロールエースハイアーA (駆動部モーター)

設置手順
説明書

このたびは、「ロールエースハイアーA」をお求めいただきありがとうございました。この「設置手順説明書」に従い、機器の取り付けをおこなってください。また、機器をご使用になる前は制御盤の「取扱説明書」をよくお読みになり正しくご使用ください。

⚠️ ご注意 安全上必ずお守りください。

- ※巻上げフィルムには、POフィルムを使用してください。他のフィルムを使用すると、均一な巻上げができない事があります。
- ※配線作業時に配線を切らないように注意してください。事故や故障のおそれがあります。
- ※駆動部より異音・異臭などが発生した時は、直ちに作動を停止してください。作動を停止し電源を切って点検をしてください。思わぬ事故のおそれがあります。
- ※ぬれた手で操作、使用をしないでください。故障・誤動作の原因となります。
- ※モーター回転中にモーター軸、巻取りパイプなどに触れないでください。思わぬ事故のおそれがあります。
- ※作動部に触れる時は必ず電源を切ってください。本製品作動部周辺に触れる場合は、電源を切ってください。予期せぬ作動をし、思わぬ事故になるおそれがあります。
- ※むやみに電源を切らないでください。電源の入・切をひんぱんに行くと、誤動作や故障の原因になります。

■ 保証・条件

本製品には3年間の保証がついております。納入品の保証条件については下記の通りとさせていただきます。

【適用となる損害や故障】①機器の故障 ②災害による故障(雷・水害・風害・雪)

【保証期間】ご購入日より3年間

【保証内容】

- ・正しい使用方法に関わらず商品が故障した場合、修理による保証となります。但し、修理金額が標準価格の80%を超える場合は、新品の商品と交換致します。
- ※設置費用及び解体費用は含まれません。
- ・災害による故障の場合は修理による保証となります。但し、修理金額が標準価格の80%を超える場合は、新品の商品と交換致します。
- ※設置費用及び解体費用は含まれません。

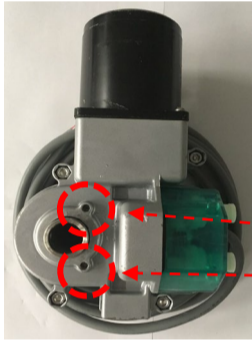
【保証対象外となる内容】

- ・誤った使用方法による故障
- ・加工及び改造をしている場合
- ・物体の落下や、車両飛込みによる故障

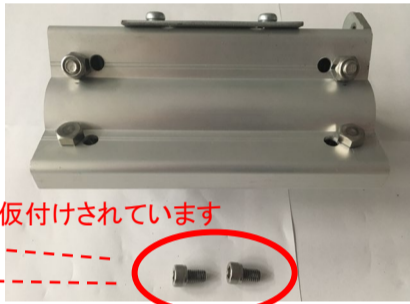
1. 梱包内容をお確かめください。

【ロールエースハイアーAモーター 谷側左右兼用】

【ガイド金具】



駆動部モーター 1台
駆動ケーブル 4m付



ガイド金具 1個

※モーターに仮付けされています

モーター仕様(谷左用・谷右用共通)
定格電源: AC 外形寸法: (約)W187mm × L95mm × H258mm
定格電圧: 三相200V
消費電力: 50W



駆動部固定用ストッパー
2個

ユニバーサルベース
1個

■ その他の梱包品

モーター脱着用六角レンチ	1本
巻取りシート 2M	1枚
フィルム保護シール	2枚
パッカー	1個

2. 制御盤をご用意ください。

制御系統数に合う制御盤をご用意してください。

ウルトラエースH2
ウルトラエースT
ウルトラエースT Lite

3. マグネットボックスをご用意ください。

使用する駆動部モーターの数に合わせてマグネットボックスをご用意ください。

2台まで: マグネットボックス MP-2型
4台まで: マグネットボックス MP-4型
6台まで: マグネットボックス MP-6型
8台まで: マグネットボックス MP-8型

4. 必要部材を別途をご用意ください。

- ・ガイドパイプA: 25φ直管パイプ 1本
- ・ガイドパイプB: 19φ直管パイプ 1本
- ・ユニバーサルベース固定用パイプ 1本
- ・巻き取りパイプ: 22φ

必要最小限の工具

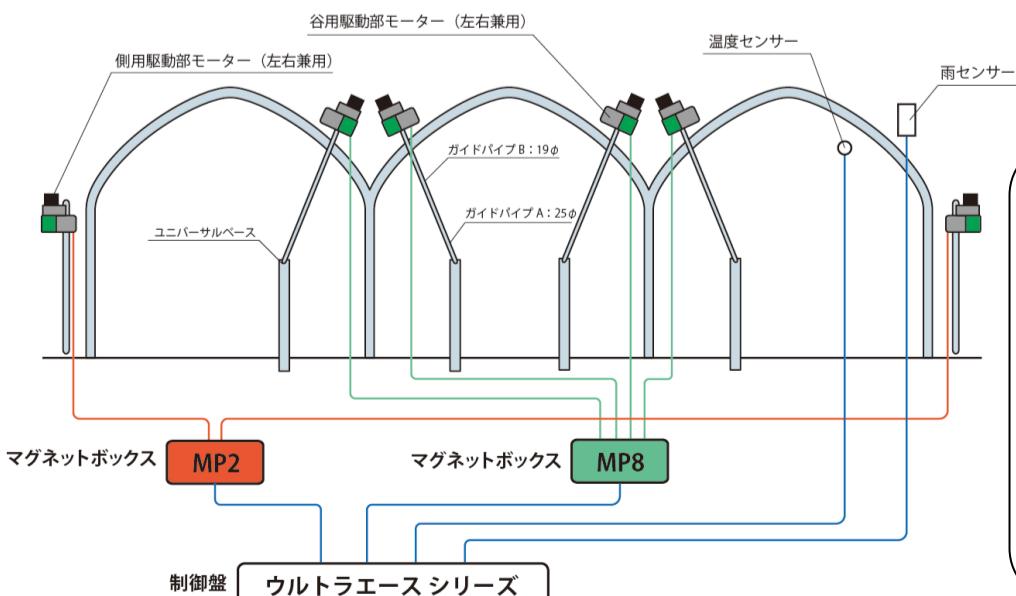
- ・プラスドライバー
- ・M6用スパナ(ラチェット)

5. 使用制限をお確かめください。

最大移動距離: 2m
(奥行50mまで POフィルム0.15mmの場合)
最大巻上長さ: 100m
(移動距離1mまで POフィルム0.15mmの場合)

6. 設置イメージ

制御盤—マグネットボックス—駆動部モーターへ配線してください。駆動部のガイドパイプは、19φと25φの直管パイプを使用し、ユニバーサルベースに25φのガイドパイプを固定します。



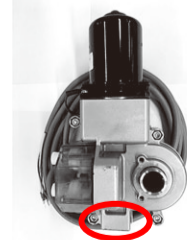
⚠️ ご注意

取付工事前の確認
取付け工事は専門業者に依頼してください。「電気工事法に基づいた正規な作業がなされませんと、感電事故や機器故障の原因となります。」

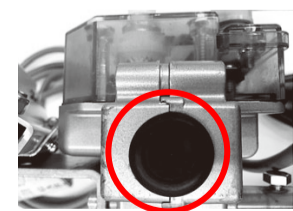


《停電時の対応方法》

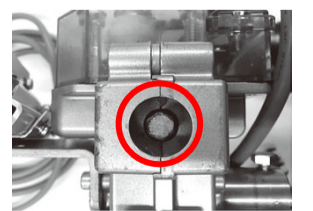
停電、故障等のため駆動部モーターが動かない場合は、駆動部下部のゴムキャップを外し、中にある停電対策用モーター軸に10mmのボックスレンチを差し込んでき上げフィルムの開閉をおこなってください。
(内部に衝撃を与える高トルクの電動ドリルやインパクトドライバーは駆動部の損につながる為使用できません。) 停電復帰後、または故障が直った場合は、したゴムキャップは元に戻してください。



駆動部下部にゴムキャップがあります。



ゴムキャップを外します



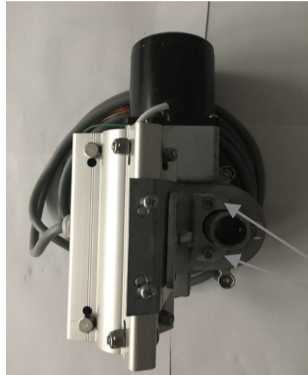
10mmのボックスレンチを差し込んで駆動部軸を回転させて下さい。その後必ずゴムキャップを取り付けて下さい。

取付方法

7. ガイド金具の取付け及び駆動部と巻取りパイプの接続

※巻取りパイプは22φ専用です。

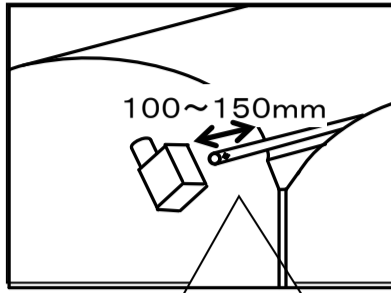
駆動部にガイド金具を取り付けます。
ガイド金具を六角レンチを使用して付属の
ボルト2本でしっかりと固定します。
反対側の駆動部も、同じ要領で取り付けます。



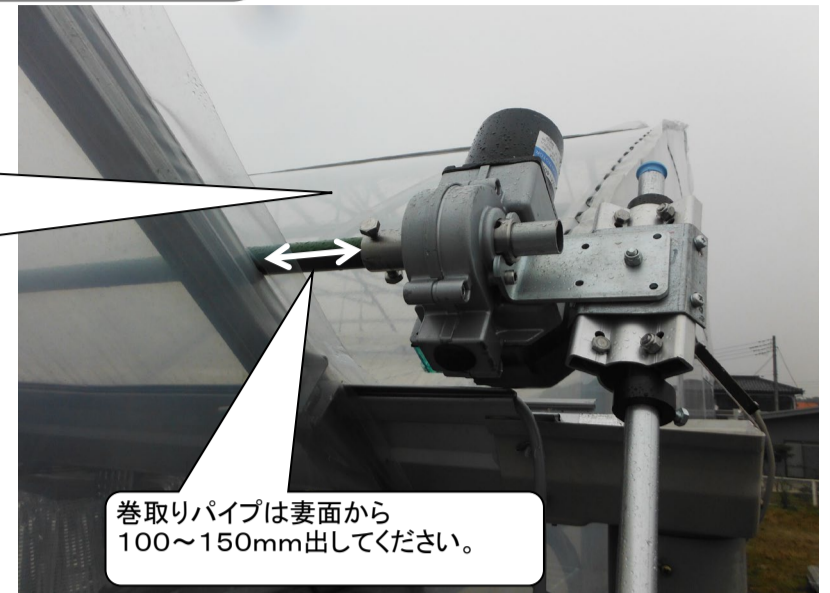
六角ボルト2本で固定

パイプジョイントと巻取りパイプを接続し、通しボルトを通して固定します。

※巻取りシートを妻面ギリギリに巻上フィルム同様に張り、
駆動部と巻取りパイプが平行になるように調節してください。



巻取りパイプの端から13mmの位置に8mmの貫通穴を開けます。
巻取りパイプと駆動部を6mmの通しボルトを通して接続します。



巻取りパイプは妻面から100~150mm出してください。

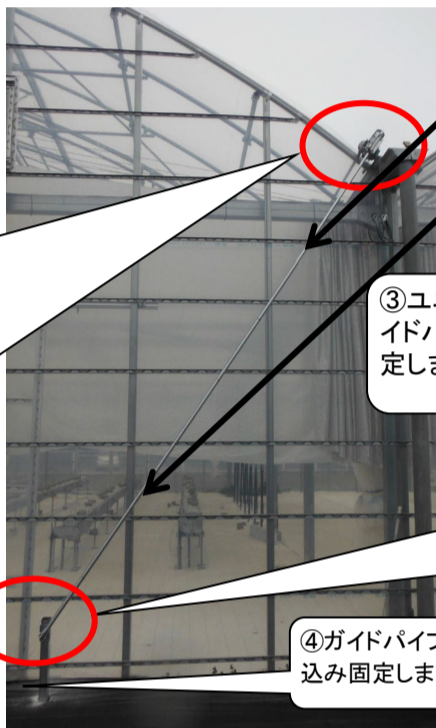
8. ガイドパイプの設置

ガイドパイプ固定用の支柱を妻面側に取り付け、ガイドパイプを設置してください。

①ガイドパイプB(19φ)を70~100mm程度出してください。



②駆動部と固定用ストッパーの間に5~10mmの隙間をあけてください。

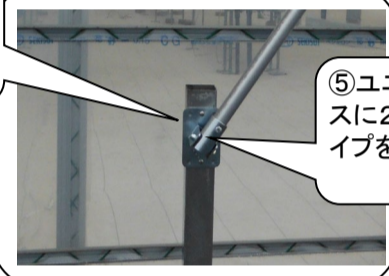


ガイドパイプB: 19φ

ガイドパイプA: 25φ

全開時にガイドパイプAとBは1m重なるように設置してください。

③ユニバーサルベースをガイドパイプ固定用支柱に固定します。



⑤ユニバーサルベースに25φのガイドパイプを取り付けます。

④ガイドパイプ固定用支柱を地中に打ち込み固定します。

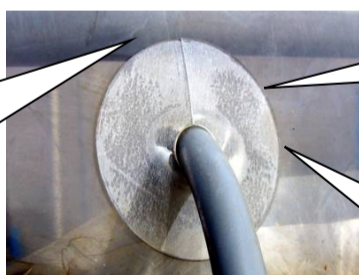
9. 制御盤への配線

制御盤・マグネットボックスへの配線は、別紙「駆動部の配線方法」および制御盤の取扱説明書をご参照ください。

※ハウス内への駆動ケーブルの引き込み

- ・ハウス内へ駆動ケーブルを引き込む位置を決めてください。
- ・駆動ケーブルは、駆動部が移動する分だけハウス外に残し、ハウス内へ引き込んでください。

①被覆フィルムに約1cmの十字の切れ込みを作り、駆動ケーブルを通してください。



③ハウス内からもフィルム保護シートを貼り付けます。

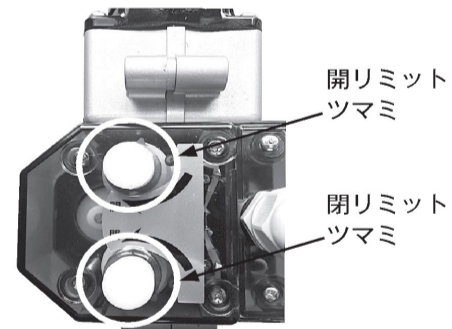
②被覆フィルムに駆動ケーブルを通したら、フィルム保護シートを貼り付けます。

10. 電源を入れる

- ①全てのケーブルが配線されていることを確認してください。
- ②制御盤の表面の電源スイッチをONにしてください。
- ③手動運転で開・閉動作をおこない、巻上方向が正しいか確認してください。
逆方向へ作動したときは、マグネットボックスの端子台のUとW(別紙「駆動部の配線方法」参照)を入れ替えてください。
※複合制御盤等で駆動部を制御する場合はその制御盤にしたがって操作してください。
各種動作はご使用になる制御盤の説明書に従って操作し、制御盤とモーターの設置位置が遠い場合は、複数人で実施してください。

11. 駆動部のリミット設定

- ①制御盤の運転モードが手動であることを確認してください。
- ②駆動部の全開リミット(これ以上巻取りパイプを下げない位置)を設定してください。
- ③次に駆動部の全閉リミット(これ以上巻取りパイプを上げない位置)を設定してください。
リミットの設定方法につきましては別紙「全開・全閉リミット」をご参照ください。



開リミット ツマミ

閉リミット ツマミ

12. 作動テスト

- ①手動運転で、開方向、閉方向へ動作すること、全開・全閉のリミットが正しく作動することを確認してください。
※リミットが正しく作動しなかった場合は、再度リミットの設定をおこなってください。
※全開・全閉まで正しく作動しているか、異常な動きがないか、駆動部本体から離れないで確認してください。
- ②異常がなければ、自動運転を開始してください。

13. 自動運転をする

ご使用になる制御盤の説明書にしたがって操作してください。

商品についてご質問等がありましたら、下記へご連絡ください。

らくちんダイヤル TEL 0120-631315
FAX 0120-731319

受付時間: 午前9時~午後5時 (ファックスは24時間受け付けています。)
土曜・日曜・祝日は休業とさせていただきます。

渡辺パイプ株式会社

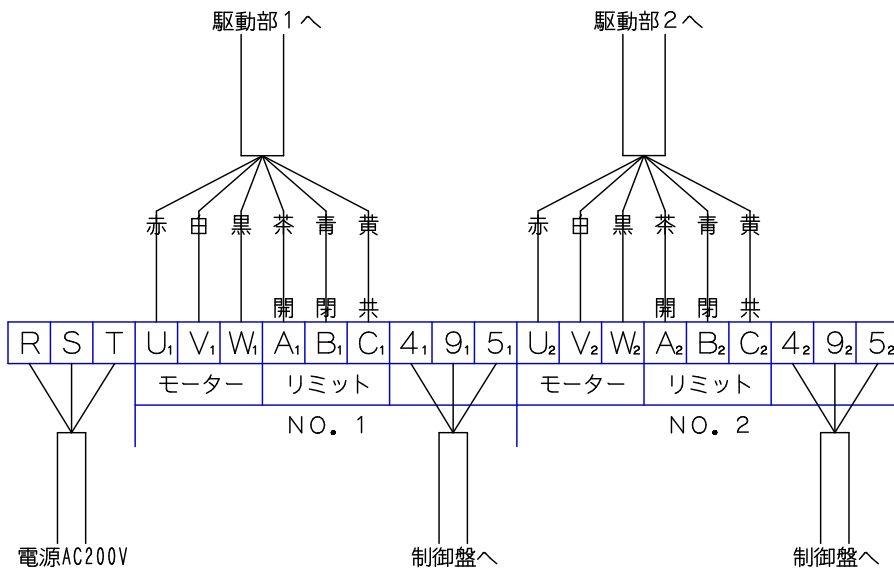
〒104-0045 東京都中央区築地5-6-10 浜離宮パークサイドプレイス6階
TEL:03-3549-3079 FAX:03-5565-6380
https://www.sedia-green.co.jp green@sedia-system.co.jp

重要

▼〔駆動部の配線方法〕

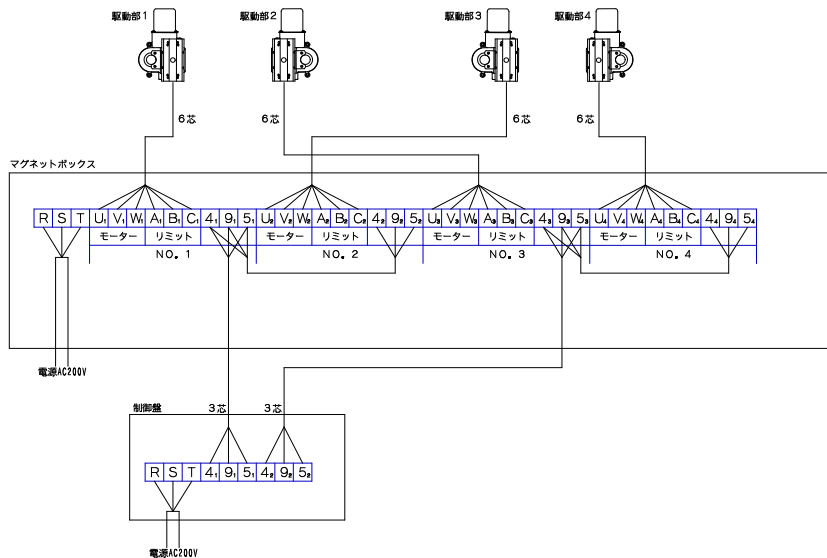
駆動部からのケーブルは、ロールエースハイのマグネットボックスの指定の端子台に配線してください。
また、マグネットボックスと制御盤も指定の端子台へ配線してください。

▽マグネットボックス内の配線位置



※配線が完了しましたら、手動運転で開・閉動作をおこない、巻上方向が正しいか確認してください。
駆動部が逆方向へ作動したときは、マグネットボックスの端子台のUとWを入れ替えてください。

▽配線例：1段変温2系統 駆動部モータ4台の場合



※制御盤とマグネットボックスとの接続は、必ず同じ番号の端子台同士を配線してください。



注意

配線工事は専門業者に依頼してください。
電気工事法に基づいた正規な作業がなされませんと、感電事故や機器故障の原因となります。

重要

▼〔全開・全閉リミットの設定〕

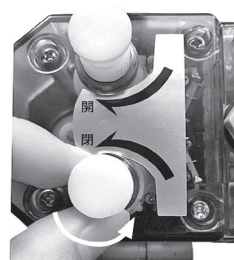
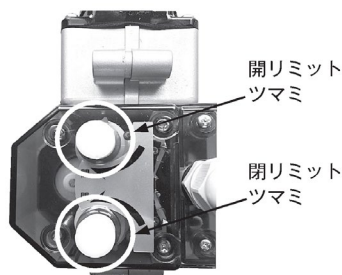
リミットは、駆動部の動作範囲の限界位置になります。

全開リミットは、開方向の限界位置で、駆動部はそのリミット位置より高い位置には巻き上がりません。

全閉リミットは、閉方向の限界位置で、駆動部はそのリミット位置より低い位置には巻き下がりません。

全開・全閉のリミットの設定をする場合は、電源を入れ、手動運転にしてください。

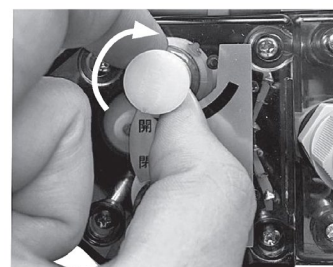
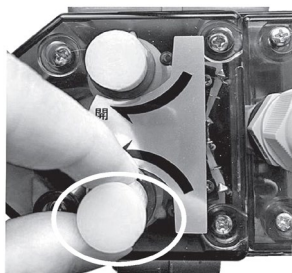
駆動部手前にありますリミット調整ツマミの位置を固定することで、全開・全閉のリミット位置を決定します。



①開・閉リミットのツマミを手前に引きます

②閉のリミット位置を固定します。

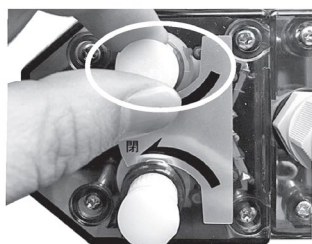
制御盤の〔開・停・閉〕切替スイッチを「閉」位置に設定して全閉位置まで駆動部を動かし停止させます。リミットの下側のツマミを矢印の方向へ回転させます。



③回転させると「カチッ」という音が聞こえます。音が聞こえたら、ツマミを押します。そうすると、リミット位置が固定されます。

④次に開のリミット位置を固定します。

制御盤の〔開・停・閉〕切替スイッチを「開」位置に設定して全開位置まで駆動部を動かし停止させます。リミットの上側のツマミを矢印の方向へ回転させます。



⑤回転させると「カチッ」という音が聞こえます。音が聞こえたら、ツマミを押します。そうすると、リミット位置が固定されます。

※反対側駆動部のリミットも同じ方法で設定します。



警告

全開・全閉リミットを設定する場合は、必ず手動運転でおこなってください。
思わぬ事故のおそれがあります。